

投資信託の基準価額変動の可視化に関する考察

矢島 桐人¹

2018年10月12日

概要

我が国の資産運用業界でもフィデューシャリー・デューティーの強化が謳われ、具体的な施策の一つとして「長期的にリスクや手数料等に見合ったリターンがどの程度生じているかを『見える化』する」ための「共通 KPI」の自主的な公表が求められている。

本研究では、一定期間における投資信託の基準価額の変動を、各投資信託の公開情報をもとに、各種指数や為替レートの変動、信託報酬などの要因に分解することで、外部分析として「投資信託の投資パフォーマンスの可視化」を行った。また変動要因を分解する上で回帰分析を行っており、決定係数 (R^2) や回帰係数、残差項に対する検証を行った。最後に、投資スタイル別のパフォーマンス評価や信託報酬率との関係などについて、実証的な分析を行った。

キーワード: 投資信託、資産運用、変動要因、回帰分析、スタイル分析、パフォーマンス分析

目次

1. 背景
2. 先行研究と本研究の意義
 2. - 1. 先行研究
 2. - 2. 本研究の意義
3. モデルの概要・運用方法
 3. - 1. 使用したデータ及び説明変数の設定
 3. - 2. モデルの概要
 3. - 3. モデルの運用方法
4. モデルの有効性
 4. - 1. 平均決定係数
 4. - 2. 回帰係数(パラメータ)の p 値
 4. - 3. 多重共線性 (VIF)
 4. - 4. 誤差項のダービン・ワトソン比
5. 本研究から得られた知見
 5. - 1. 投資信託の分類
 5. - 2. 信託報酬率との比較
6. 今後の展望

¹ ロボット投信株式会社